



合志の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和8年2月6日（金）No 38 発行
文責：松本 卓也

自分の未来は自分で描く！ ～2年生ライフデザインセミナー

合志市こども部こども未来課では、合志市立4中学校の2年生を対象に、人生を大きく変えるイベント（就職、結婚、出産等）について、自立的に選択できるようなヒントや、普段考える機会が少ない結婚や出産に関する知識を提供することを目的として、セミナー及びワークショップを実施しています。合志中学校では、先月29日（木）に株式会社FineプロデュースのH様をお招きしてライフデザインセミナーを実施しました。①プロローグ「自分の未来を描いてみよう」、②未来予想樹グループワーク、③ライフプランの考え方、④MY・未来予想樹個人ワーク、⑤エピローグ「納得した選択をするために」の流れで、自分の未来について考えました。



- 「想像力」は未来を描く力になる。
- 人生はいろんな経験の組み合わせでできています。
- 夢や目的のゴールから逆算すると、今の自分自身につながる。
- 人生は選択の連続・・・大事なことは自己決定すること。後悔することがあったとしても、「頑張ろう」「乗り越えよう」と思える。
- 自分のことや世の中のことを知ることからスタート。自分で考え、選び、納得した人生を！

わかりやすい説明と多くの講師サポーターのお陰で、子どもたちはとても活発に自分の未来をデザインし、考えを出し合っていました。感想を一部、紹介します。

- ・自分は、まだ先のことからと思い、気にしていなかったけど、自分をしっかり見つめ直すことができて、とても良かったです。
- ・たくさんの人の想像を聞くことができて、とても面白かったです。自分の想像以上の想像を知れて、これからが楽しみになりました。ワクワクしました。
- ・これからもっと色々な経験を、たくさん積極的に行っていきたいと思いました。サポートの方々が回りながら声をかけていただいたので、とてもやりやすかったです。

「これからどのような人生を送っていくのか？」自分の未来を思い描く、とても素敵な時間になりました。株式会社FineプロデュースのH様を始め、7名のサポーターの皆様、貴重なお話をありがとうございました。



流行語つかった父の自慢顔 意味は違えど うなづく私

先月31日（土）、市こども未来コンクール表彰式が開催されました。本校からは、4部門で16名が入賞し、一行詩中学生の部で最優秀賞を受賞した2年Yさんと1年Hさんが詩を会場で発表しました。審査員長講評には、「Yさんの優しく、ほのぼのとした気持ちが伝わってきます」と述べられています。父との光景が目に浮かぶ素晴らしい詩でした。



心を開き、心に近づく Part2

先月26日（月）から、陸上部・水泳部を皮切りに部活動対抗あいさつ運動を行っています。「合志の旋風10号」でもお伝えしましたが、挨拶には、「自分の心を開くことで、相手の心を開く（挨）」「相手の心に近づいていく（拶）」の2つの意味が込められています。大きく爽やかな部活動生の挨拶に笑顔で返す子どもたち・・・寒い日が続いていますが、その風景に朝から心はポカポカです。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）